

平成25年2月期 第1四半期決算短信〔日本基準〕(連結)



平成24年6月25日

上場会社名 株式会社 高島屋 上場取引所 東・大  
 コード番号 8233 URL http://www.takashimaya.co.jp  
 代表者 (役職名) 取締役社長 (氏名) 鈴木 弘 治  
 問合せ先責任者 (役職名) 広報・IR室長 (氏名) 加藤 ナ ナ (TEL) (03) 3211-4111

四半期報告書提出予定日 平成24年7月12日 配当支払開始予定日 —  
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無  
 四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 平成25年2月期第1四半期の連結業績(平成24年3月1日～平成24年5月31日)

(1) 連結経営成績(累計) (%表示は、対前年同四半期増減率)

	営業収益		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
25年2月期第1四半期	207,348	6.5	5,884	68.7	6,374	47.0	3,860	125.5
24年2月期第1四半期	194,755	△5.6	3,487	△12.5	4,337	△8.4	1,711	26.6

(注) 包括利益 25年2月期第1四半期 5,816百万円 (216.3%) 24年2月期第1四半期 1,838 百万円 (—%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
25年2月期第1四半期	11.70	10.88
24年2月期第1四半期	5.18	4.82

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
25年2月期第1四半期	798,093	311,585	38.4
24年2月期	803,917	307,481	37.6

(参考) 自己資本 25年2月期第1四半期 306,080百万円 24年2月期 302,152百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
24年2月期	—	5.00	—	5.00	10.00
25年2月期	—				
25年2月期(予想)		5.00	—	5.00	10.00

(注) 直前に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 平成25年2月期の連結業績予想(平成24年3月1日～平成25年2月28日)

(%表示は、通期は対前期、第2四半期(累計)は対前年同四半期増減率)

	営業収益		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
第2四半期(累計)	424,000	3.4	10,000	10.3	11,500	6.6	6,000	11.6	18.18
通期	880,000	2.5	24,000	13.7	26,500	8.8	13,000	19.3	39.40

(注) 直前に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

#### 4. その他

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動（連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動）： 無  
新規 ー社（社名） 除外 ー社（社名）

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用： 無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積もりの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）	25年2月期1Q	330,827,625株	24年2月期	330,827,625株
② 期末自己株式数	25年2月期1Q	928,144株	24年2月期	926,136株
③ 期中平均株式数（四半期累計）	25年2月期1Q	329,900,232株	24年2月期1Q	329,908,137株

※四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

- ・この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期連結財務諸表のレビュー手続は終了していません。

※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

- ・本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社グループが現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、四半期決算短信（添付資料）P.3「連結業績予想に関する定性的情報」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 連結経営成績に関する定性的情報	2
(2) 連結財政状態に関する定性的情報	3
(3) 連結業績予想に関する定性的情報	3
2. サマリー情報（その他）に関する事項	3
(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動	3
(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用	3
(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示	3
(4) 追加情報	3
3. 四半期連結財務諸表	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
四半期連結損益計算書	6
四半期連結包括利益計算書	7
(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書	8
(4) 継続企業の前提に関する注記	10
(5) セグメント情報等	10
(6) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記	11
4. 補足情報	12
(1) 個別決算の概況	12

## 1. 当四半期決算に関する定性的情報

### (1) 連結経営成績に関する定性的情報

当第1四半期連結累計期間(平成24年3月1日～平成24年5月31日)におけるわが国経済は、昨年3月の東日本大震災から1年を経て、企業業績も改善し緩やかではあるものの回復の兆しが見えはじめました。しかしながら、欧州を中心とした金融不安や電力供給に対する懸念等、先行きはいまだ不透明で予断を許さない状況にあります。

そのような環境のもと、当社グループは構造改革を進めるとともに営業力強化に努めました。さらに、収益力の高いグループ会社を有する強みを活かすことにより、グループの総合力を結集し、業績の改善に努めました。

その結果、連結営業収益は207,348百万円(前年同期比6.5%増)、連結営業利益は5,884百万円(前年同期比68.7%増)、連結経常利益は6,374百万円(前年同期比47.0%増)となり、連結四半期純利益は3,860百万円(前年同期比125.5%増)となりました。

セグメントの業績は、次のとおりです。

#### <百貨店業>

百貨店業においては、昨年の震災影響の反動に加え、特選衣料雑貨や宝飾品等の売上が堅調に推移しました。また、春物衣料の動きの良さもあり、関東地方の店舗を中心に前年実績を上回りました。

本年度は、「増収へのチャレンジ」を掲げ、商品や集客策の強化に努めてまいりました。商品面では、高島屋の独自性と特徴化を発揮すべく、オリジナル商材の展開に尽力してまいりました。また、集客面では横浜店でのメディアと連動した「ニッポン放送 うまいもの祭」をはじめ、東京店での「法隆寺名品展」など話題性に富んだ催事を開催し、売上高・入店客数ともに順調に推移しました。

また、昨年3月に全館グランドオープンを果たした大阪店は、売場面積を拡大した特選衣料雑貨や婦人雑貨を中心に、堅調に売上高を伸ばすことができました。

海外では、タカシマヤ・シンガポール LTD.が堅調なシンガポール国内景気を背景に、ツーリスト対策など積極的な営業施策により、増収増益となりました。

この結果、営業収益は183,464百万円(前年同期比5.6%増)、営業利益は2,489百万円(前年同期比118.9%増)となりました。

#### <建装事業>

建装事業においては、高島屋スペースクリエイツ株式会社が、震災影響の反動でラグジュアリーブランド等の受注が回復し、増収と黒字転換を果たしました。

この結果、営業収益は4,708百万円(前年同期比75.2%増)、営業利益は35百万円(前年同期は営業損失232百万円)となりました。

#### <不動産業>

不動産業においては、東神開発株式会社が、玉川、柏、流山おおたかの森等のショッピングセンターの好調により、増収増益となりました。また、トーシン ディベロップメント シンガポールPTE., LTD.では、専門店の好調に加え賃料改定等の収益改善策が奏功し、増収増益となりました。

この結果、営業収益は8,328百万円(前年同期比6.4%増)、営業利益は1,959百万円(前年同期比6.0%増)となりました。

#### <金融業>

金融業においては、高島屋クレジット株式会社が、震災影響の反動によりショッピング収益が堅調に推移し、増収となりました。一方、与信管理厳格化による貸倒費用の圧縮等、経費の効率化を推進し増益となりました。

この結果、営業収益は3,052百万円(前年同期比1.2%増)、営業利益は1,080百万円(前年同期比32.8%増)となりました。

<その他>

クロスメディア事業においては、カタログ商品で震災関連商品の受注減があったものの、ネットビジネスにおいては、取り組みを強化している食料品や化粧品の取扱いブランド数の増加等により増収となりました。

また、機能子会社である株式会社高島屋サービスも収益性の改善を図り、営業損失額が前年同期より縮小しました。

この結果、クロスメディア事業等その他全体での営業収益は7,795百万円（前年同期比3.9%増）、営業損失は123百万円（前年同期は営業損失340百万円）となりました。

(2) 連結財政状態に関する定性的情報

当第1四半期連結会計期間末の資産は、798,093百万円と前連結会計年度末に比べ5,824百万円減少しました。これは現金及び預金、有価証券が減少したことなどによるものです。負債については、486,507百万円と前連結会計年度末に比べ9,928百万円減少しました。主な要因は借入金が増加したことなどによるものです。純資産については、311,585百万円と前連結会計年度末に比べ4,104百万円増加しました。

営業活動キャッシュ・フローは、4,428百万円の収入となり、前年同期に比べ11,717百万円の収入の減少となりました。主な要因は、売上債権の増減額が3,283百万円増加したことなどによるものです。

投資活動キャッシュ・フローは、10,770百万円の支出となり、前年同期に比べ6,243百万円の支出の増加となりました。主な要因は、定期預金の預入による支出が4,679百万円増加したこと、関係会社株式の取得による支出が690百万円であったことなどによるものです。

財務活動キャッシュ・フローは、17,723百万円の支出となり、前年同期に比べ12,767百万円の支出の増加となりました。主な要因は、長期借入金の返済による支出が17,950百万円増加した一方、長期借入れによる収入が5,300百万円あったことなどによるものです。

以上の結果、当第1四半期連結会計期間末の現金及び現金同等物は、前連結会計年度末に比べ23,583百万円減少し、54,368百万円となりました。

(3) 連結業績予想に関する定性的情報

業績につきましては、概ね予想通りに推移しております。現時点におきましては、平成24年4月6日の決算発表時の業績予想からの変更はありません。

2. サマリー情報（その他）に関する事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動

該当事項はありません。

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

該当事項はありません。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

該当事項はありません。

(4) 追加情報

（会計上の変更及び誤謬の訂正に関する会計基準等の適用）

当第1四半期連結会計期間の期首以後に行われる会計上の変更及び過去の誤謬の訂正より、「会計上の変更及び誤謬の訂正に関する会計基準」（企業会計基準第24号 平成21年12月4日）及び「会計上の変更及び誤謬の訂正に関する会計基準の適用指針」（企業会計基準適用指針第24号 平成21年12月4日）を適用しています。

3. 四半期連結財務諸表  
 (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成24年2月29日)	当第1四半期連結会計期間 (平成24年5月31日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	61,124	59,121
受取手形及び売掛金	121,414	129,735
有価証券	15,000	—
商品及び製品	36,765	38,790
仕掛品	508	511
原材料及び貯蔵品	590	643
その他	27,869	27,011
貸倒引当金	△877	△712
流動資産合計	262,394	255,101
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物(純額)	155,348	154,070
土地	208,682	211,366
その他(純額)	11,717	11,227
有形固定資産合計	375,748	376,664
無形固定資産		
のれん	669	645
その他	29,129	28,797
無形固定資産合計	29,799	29,442
投資その他の資産		
投資有価証券	77,474	78,418
差入保証金	42,082	42,127
その他	20,825	20,702
貸倒引当金	△4,406	△4,364
投資その他の資産合計	135,975	136,884
固定資産合計	541,522	542,992
資産合計	803,917	798,093

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成24年2月29日)	当第1四半期連結会計期間 (平成24年5月31日)
<b>負債の部</b>		
流動負債		
支払手形及び買掛金	87,297	93,683
短期借入金	39,811	19,578
未払法人税等	4,177	2,538
前受金	75,713	78,365
商品券	63,070	61,608
ポイント引当金	3,517	3,299
その他	49,322	46,793
流動負債合計	322,910	305,867
固定負債		
社債	30,000	30,000
長期借入金	57,667	62,120
資産除去債務	1,122	1,220
退職給付引当金	49,763	49,288
役員退職慰労引当金	242	234
環境対策引当金	660	660
その他	34,069	37,115
固定負債合計	173,525	180,639
負債合計	496,436	486,507
<b>純資産の部</b>		
株主資本		
資本金	56,025	56,025
資本剰余金	45,085	45,086
利益剰余金	193,362	195,571
自己株式	△531	△532
株主資本合計	293,941	296,150
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	4,799	3,344
繰延ヘッジ損益	11	△1
土地再評価差額金	8,373	8,373
為替換算調整勘定	△4,974	△1,786
その他の包括利益累計額合計	8,211	9,930
少数株主持分	5,328	5,505
純資産合計	307,481	311,585
負債純資産合計	803,917	798,093

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書  
 四半期連結損益計算書  
 第1四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	前第1四半期連結累計期間 (自 平成23年3月1日 至 平成23年5月31日)	当第1四半期連結累計期間 (自 平成24年3月1日 至 平成24年5月31日)
売上高	181,727	193,702
売上原価	134,320	142,889
売上総利益	47,407	50,813
その他の営業収入	13,028	13,646
営業総利益	60,435	64,459
販売費及び一般管理費		
広告宣伝費	6,232	6,825
ポイント引当金繰入額	946	661
貸倒引当金繰入額	336	44
役員報酬及び給料手当	15,856	15,938
退職給付費用	1,836	1,671
不動産賃借料	9,428	9,328
その他	22,310	24,104
販売費及び一般管理費合計	56,948	58,574
営業利益	3,487	5,884
営業外収益		
受取利息	74	75
受取配当金	92	93
債務勘定整理益	320	170
持分法による投資利益	519	555
その他	459	275
営業外収益合計	1,466	1,171
営業外費用		
支払利息	398	325
為替差損	156	190
その他	61	166
営業外費用合計	616	682
経常利益	4,337	6,374
特別利益		
固定資産売却益	64	—
投資有価証券売却益	30	—
特別利益合計	95	—
特別損失		
固定資産除却損	461	389
投資有価証券評価損	482	—
災害による損失	281	—
資産除去債務会計基準の適用に伴う影響額	369	—
その他	206	—
特別損失合計	1,801	389
税金等調整前四半期純利益	2,631	5,984
法人税、住民税及び事業税	1,184	1,401
法人税等調整額	△420	485
法人税等合計	764	1,887
少数株主損益調整前四半期純利益	1,866	4,097
少数株主利益	154	237
四半期純利益	1,711	3,860



四半期連結包括利益計算書  
第1四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	前第1四半期連結累計期間 (自 平成23年3月1日 至 平成23年5月31日)	当第1四半期連結累計期間 (自 平成24年3月1日 至 平成24年5月31日)
少数株主損益調整前四半期純利益	1,866	4,097
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△2,220	△1,479
繰延ヘッジ損益	0	△12
為替換算調整勘定	1,460	1,734
持分法適用会社に対する持分相当額	732	1,476
その他の包括利益合計	△27	1,718
四半期包括利益	1,838	5,816
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	1,684	5,579
少数株主に係る四半期包括利益	154	237

(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：百万円)

	前第1四半期連結累計期間 (自 平成23年3月1日 至 平成23年5月31日)	当第1四半期連結累計期間 (自 平成24年3月1日 至 平成24年5月31日)
<b>営業活動によるキャッシュ・フロー</b>		
税金等調整前四半期純利益	2,631	5,984
減価償却費	4,309	4,791
のれん償却額	23	23
貸倒引当金の増減額 (△は減少)	184	△206
役員賞与引当金の増減額 (△は減少)	20	△16
退職給付引当金の増減額 (△は減少)	249	△475
役員退職慰労引当金の増減額 (△は減少)	△1	△7
ポイント引当金の増減額 (△は減少)	△10	△217
建物等除却損失引当金の増減額 (△は減少)	△341	—
受取利息及び受取配当金	△167	△169
支払利息	398	325
持分法による投資損益 (△は益)	△519	△555
固定資産売却損益 (△は益)	△62	0
固定資産除却損	413	259
投資有価証券評価損益 (△は益)	482	—
資産除去債務会計基準の適用に伴う影響額	369	—
売上債権の増減額 (△は増加)	△4,023	△7,306
たな卸資産の増減額 (△は増加)	△1,436	△2,031
仕入債務の増減額 (△は減少)	5,273	5,885
未収入金の増減額 (△は増加)	5,373	558
その他	4,273	△77
小計	17,439	6,763
利息及び配当金の受取額	1,075	955
利息の支払額	△421	△308
法人税等の支払額	△1,948	△2,982
営業活動によるキャッシュ・フロー	16,145	4,428
<b>投資活動によるキャッシュ・フロー</b>		
定期預金の預入による支出	△6	△4,685
定期預金の払戻による収入	182	—
有価証券及び投資有価証券の取得による支出	△2	△2
有価証券及び投資有価証券の売却による収入	54	—
関係会社株式の取得による支出	—	△690
有形及び無形固定資産の取得による支出	△4,865	△5,396
有形及び無形固定資産の売却による収入	113	9
その他	△3	△5
投資活動によるキャッシュ・フロー	△4,527	△10,770

(単位：百万円)

	前第1四半期連結累計期間 (自 平成23年3月1日 至 平成23年5月31日)	当第1四半期連結累計期間 (自 平成24年3月1日 至 平成24年5月31日)
財務活動によるキャッシュ・フロー		
長期借入れによる収入	—	5,300
長期借入金の返済による支出	△3,130	△21,080
配当金の支払額	△1,649	△1,649
その他	△175	△292
財務活動によるキャッシュ・フロー	△4,955	△17,723
現金及び現金同等物に係る換算差額	1,009	2,356
現金及び現金同等物の増減額(△は減少)	7,672	△21,709
現金及び現金同等物の期首残高	70,279	76,077
現金及び現金同等物の四半期末残高	77,951	54,368

(4) 継続企業の前提に関する注記

該当事項はありません。

(5) セグメント情報等

【セグメント情報】

I 前第1四半期連結累計期間(自平成23年3月1日至平成23年5月31日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント					その他 (注) 1	合計	調整額 (注) 2	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 3
	百貨店業	建装事業	不動産業	金融業	計				
営業収益									
(1)外部顧客への 営業収益	173,720	2,688	7,829	3,014	187,252	7,503	194,755	—	194,755
(2)セグメント 間の内部営 業収益又は 振替高	1,476	721	1,202	898	4,299	6,826	11,126	(11,126)	—
計	175,196	3,410	9,031	3,913	191,552	14,329	205,881	(11,126)	194,755
セグメント利益 又は損失(△)	1,137	△232	1,848	813	3,567	△340	3,227	259	3,487

(注) 1 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、通信販売事業、卸売事業、衣料品加工業等を含んでおります。

2 セグメント利益又は損失の調整額259百万円は、セグメント間取引消去であります。

3 セグメント利益又は損失は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。

Ⅱ 当第1四半期連結累計期間（自 平成24年3月1日 至 平成24年5月31日）

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：百万円)

	報告セグメント					その他 (注) 1	合計	調整額 (注) 2	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 3
	百貨店業	建装事業	不動産業	金融業	計				
営業収益									
(1)外部顧客への営業収益	183,464	4,708	8,328	3,052	199,553	7,795	207,348	—	207,348
(2)セグメント間の内部営業収益又は振替高	1,413	381	1,091	970	3,856	6,802	10,659	(10,659)	—
計	184,877	5,090	9,419	4,022	203,410	14,598	218,008	(10,659)	207,348
セグメント利益又は損失(△)	2,489	35	1,959	1,080	5,565	△123	5,441	442	5,884

(注) 1 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、通信販売事業、卸売事業、衣料品加工業等を含んでおります。

2 セグメント利益又は損失の調整額442百万円は、セグメント間取引消去であります。

3 セグメント利益又は損失は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。

(6) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記

該当事項はありません。

#### 4. 補足情報

##### (1) 個別決算の概況

平成25年2月期 第1四半期の個別決算概況について

##### I. 実績

(単位：百万円、%)

	前第1四半期累計期間 (自 平成23年3月1日 至 平成23年5月31日)	当第1四半期累計期間 (自 平成24年3月1日 至 平成24年5月31日)	増減額	増減率
営業収益	154,906	164,186	9,279	6.0
売上高	152,504	161,764	9,259	6.1
売上総利益率	25.71	25.58	△0.13	—
販売費及び一般管理費	41,264	42,579	1,314	3.2
営業利益	345	1,221	875	253.2
経常利益	1,954	2,663	709	36.3
四半期純利益	5,025	2,115	△2,909	△57.9

##### II. 店別売上高

(単位：百万円、%)

区 分	前第1四半期累計期間		当第1四半期累計期間		増減額	増減率	
	金額	構成比	金額	構成比			
大阪店	28,634	18.8	28,773	17.8	139	0.5	
堺店	3,647	2.4	3,602	2.2	△45	△1.2	
京都店	19,808	13.0	19,831	12.3	23	0.1	
泉北店	4,757	3.1	4,718	2.9	△38	△0.8	
東京店	27,685	18.1	30,227	18.7	2,541	9.2	
横浜店	28,910	19.0	31,659	19.6	2,749	9.5	
港南台店	2,363	1.5	2,424	1.5	61	2.6	
新宿店	13,342	8.7	15,277	9.4	1,935	14.5	
玉川店	8,654	5.7	9,349	5.8	695	8.0	
立川店	3,751	2.5	4,212	2.6	460	12.3	
大宮店	2,861	1.9	2,912	1.8	50	1.8	
柏店	8,087	5.3	8,773	5.4	686	8.5	
(株)高島屋計	152,504	100.0	161,764	100.0	9,259	6.1	
国内 子会 社	岡山高島屋	4,401		4,332		△68	△1.6
	岐阜高島屋	3,884		3,814		△69	△1.8
	米子高島屋	1,556		1,525		△30	△2.0
	高崎高島屋	3,319		3,613		294	8.9
国内子会社を含む総計	165,666		175,051		9,384	5.7	

(注) 1. 大阪店には和歌山店を、京都店には洛西店を含めております。

2. 法人事業部及びクロスメディア事業部の売上高は、それぞれ所在する地区の各店に含めております。

Ⅲ. 販売費及び一般管理費

(単位：百万円、%)

	前第1四半期累計期間	当第1四半期累計期間	増減額	増減率
人件費	14,189	14,283	93	0.7
宣伝費	6,649	6,921	272	4.1
総務費及び庶務費	12,943	14,017	1,074	8.3
経理費	7,482	7,357	△125	△1.7
計	41,264	42,579	1,314	3.2

Ⅳ. 営業外損益

(単位：百万円、%)

	前第1四半期累計期間	当第1四半期累計期間	増減額	増減率
営業外収益	2,453	2,340	△113	△4.6
受取利息・配当金	1,852	2,047	195	10.6
雑収入	601	292	△308	△51.3
営業外費用	844	898	53	6.3
支払利息	630	568	△61	△9.8
雑損失	214	330	115	53.6

Ⅴ. 特別利益・特別損失

(単位：百万円)

	前第1四半期累計期間		当第1四半期累計期間	
特別利益	投資有価証券売却益	30		—
	関係会社整理益	5,473		—
	計	5,503		—
特別損失	固定資産除却損	381	固定資産除却損	219
	投資有価証券評価損	480		—
	資産除去債務会計基準の適用に伴う影響額	232		—
	災害による損失	169		—
	その他	2		—
	計	1,266		219